

**製品名: Eme1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10437**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	65kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EME1
別名	EME1; MMS4; Crossover junction endonuclease EME1; MMS4 homolog; hMMS4
遺伝子 ID	146956.0
SwissProt ID	Q96AY2
免疫原	Eme1 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 250-330

**背景**

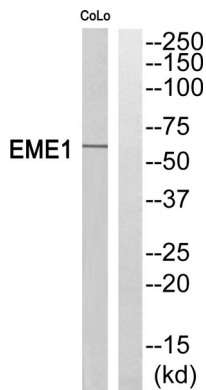
この遺伝子は、メチルメタンスルホン酸感受性 UV 感受性タンパク質 81 と複合体を形成し、エンドヌクレアーゼ複合体を形成するタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、ニックの入ったホリデイジャンクション、3'フラップ構造、異常な複

製フォーク構造など、特定の DNA 構造と相互作用します。このタンパク質は、DNA 損傷の修復とゲノム安定性の維持に関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2009 年 10 月]、補因子：マグネシウム、機能：MUS81 と相互作用し、分岐部ニックが 5'末端にある分岐 DNA 構造を基質として選択的に作用する DNA 構造特異的エンドヌクレアーゼを形成します。典型的な基質には、3'フラップ構造、複製フォーク、ニックの入ったホリデイジャンクションなどがあります。有糸分裂において、停止または崩壊した複製フォークの処理に必要となる可能性がある。、類似性：EME1/MMS4 ファミリーに属する。、細胞内局在：S 期細胞における DNA 損傷領域にリクルートされる。、サブユニット：自己会合する可能性がある。MUS81 と相互作用する。ERCC4 および FANCM と相互作用する。、

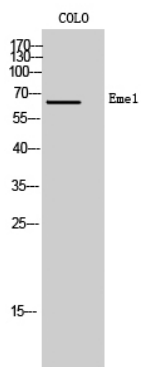
## 研究分野

相同組換え;

## 画像データ



EME1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは EME1 ペプチドでブロッキングされている。



Eme1 ポリクローナル抗体を使用した COLO 細胞のウェスタンブロット分析。